

第2 平成13年度補正予算の状況

平成13年度補正予算につきましては、前回の平成13年第2回「三重の財政」で平成13年4月専決、平成13年6月補正及び9月補正について説明いたしましたので、ここではそれ以降の補正予算について説明します。

なお、これらの補正予算の状況については、巻末資料29を、また一般会計の予算規模の推移については、巻末資料30を、それぞれご覧ください。

1. 平成13年12月補正予算

この補正予算は、県税や地方消費税清算金などの歳入の増減及び台風11号、15号等による県有施設等の災害復旧に要する経費や牛海綿状脳症（BSE）対策にかかる事業などについて、それぞれ所要の措置を講じたものです。

平成13年12月補正予算の状況

（単位：千円）

	現計予算額	12月補正額	補正後累計額
一般会計	776,601,640	5,418,218	782,019,858
特別会計	32,990,837	702,636	32,288,201
企業会計	71,712,584	557,854	71,154,730
合計	881,305,061	4,157,728	885,462,789

一般会計の内容	5,418,218千円
---------	-------------

1 歳入の主要点

- (1) 県税 5,917,000千円
 県民税利子割42.1億円の増、地方消費税11.2億円の増などあわせて、59.2億円増額する。
- (2) 地方消費税清算金 3,294,000千円
 都道府県間の清算を行う本県の按分率が低下したことにより、減額する。
- (3) 国庫支出金 3,281,714千円
 災害復旧費負担金28.7億円の増、公共事業に伴う国庫負担金5.9億円の増等により、あわせて32.8億円増額する。
- (4) 寄附金 1,058,446千円
 教育振興費寄附金を計上する。
- (5) 繰入金 7,866,385千円
 県債管理基金繰入金を77.7億円減額するなど、78.7億円減額する。
- (6) 繰越金 4,765,078千円
 平成12年度の決算見込みに伴い、47.7億円計上する。
 （平成12年度の決算による実質収支95.4億円のうち、財政調整基金に予算外積み立てした47.7億円を除いた額）
- (7) 県債 1,871,300千円
 災害復旧費充当の県債10.0億円の増、減税補てん債1.2億円の減、臨時財政対策債2.7億円の増などにより、あわせて、18.7億円増額する。

2 歳出の主要点

(1) 公共事業等				5,254,045千円
(うち災害復旧事業をはじめ災害関連・助成など災害復旧に関連する経費				5,068,523千円)
公共事業				1,201,482千円
砂防	116,100	都市計画	132,950	
住宅	499,344	治山	443,943	
県単公共事業				348,638千円
治山	190,200	ふるさと農道	71,600	
直轄事業(県土)				192,146千円
災害復旧事業				4,021,729千円
県土	1,898,248	環境	1,587,926	
農商	429,797	教育	105,758	
受託事業				509,950千円
(2) 牛海綿状脳症(BSE)対策関連予算				211,583千円
(3) 税収関連交付金等				3,181,000千円
利子割交付金26.3億円の増、地方消費税清算金支出11.4億円の増、地方消費税市町村交付金16.5億円の減等により、あわせて31.8億円を増額する。				
(4) 県債利子償還金				1,770,666千円
12年度債の借入利率の確定等に伴い、減額する。				
(5) 教育委員会/寄附金関係				1,058,446千円
義務教育教職員給与の国庫負担金を返還する。				396,782
上記の残額を財政調整基金に積み立てる。				661,664

特別会計の内容	702,636千円
---------	-----------

1 歳出の主要点

(1) 流域下水道事業特別会計				876,182千円
中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)				396,000
中勢沿岸流域下水道(雲出川左岸処理区)				161,000
中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)				30,500

企業会計の内容	557,854千円
---------	-----------

1 歳出の主要点

(1) 工業用水道事業会計				270,000千円
道路改良工事に伴い計画されていた配水管移設工事の中止等により、減額する。				
(2) 病院事業会計				337,253千円
材料費(医薬品費)の減等により、減額する。				